

杉並ヒーロー映画祭 2019 コンペティション 9月7日

高橋雄祐 / still dark

料理人を志す盲目の青年ユウキはあるレストランのナポリタンに心を奪われる。見習いとして働きはじめたユウキは先輩アルバイトのケンタや料理長と心を通わせながら、自身の夢や障がいと向き合うが。



佐野竜馬 / ソフトパレード

ゴミ収集員の圭介は AV 好きの同僚野本に振り回されながらも淡々と生活していた。そんな圭介の心の拠り所は接点のない亜希をただ遠くから眺めることだった。そして、ある日、亜希のアパートを眺めていた圭介は恋人から DV を受ける亜希の姿を目撃してしまう…。



野本梢 / 次は何に生まれましょうか

聡美は娘の望結（みゆ）が他の子たちと少し違うことに苦悩しつつも誰にも相談できずにいた。親に叱責され、担任の先生に泣きつかれ、聡美は苛立ちがつのり、ついに望結に当たってしまう。



大森歩 / 春

父の家に居候をする、美大生のアミ。大人になるアミとは反対に、どんどんボケていき、子供返りするおじいさん。やがて、二人の感受性が重なる。



高島優毅 / VR 職場

ニートの就労支援を行うべく開発されたゲーム「VR 職場」は、理想の労働環境を VR で再現した画期的なゲームだった。が、ある日ゲーム内の AI キャラがパワハラを起こすという「バグ」が発生してしまう。開発チームは修正を命じられるが…



影丘道 / マン

映画好きのハッピー高澤は、全世界待望のアクション大作・BC コミックス配給の「ダークヒーロー・マン」の鑑賞を心待ちにしていた。映画を見る前の高揚感、前作よりも面白くなっているはずだという期待感を抱き、映画館の CINEMA 志根間に入っていく…。



ミーのカー / 小野寺しん

拾った車椅子で不正にお金を得ようとする、バカな男の子とそれを執拗に追いかけて回すバカな男達が織り成す意地悪でシュールで切実なオフビートコメディ



佐藤陽子 / わたしのヒーロー

都内の IT コンサルに勤める松本遼は育休中。小さい頃の夢はヒーローで、世界を救うような仕事がしたいと思っていた。ただ、理想と現実が違うもので、遼を待ち受けていたのは、思いもかけない日々だった…

